

京都市の目指す子ども像

伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

『～つながり、つたえ、つくりだす～』

令和3年度 学校教育において重視する視点

■子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校・幼稚園全体の教育活動の中で高める

～明日を創造できる子の育成をめざして～

学校教育目標

自ら学ぶ力と豊かな人間性を持ち

社会にはばたく 川岡東の子

めざす子ども像 すべての教育活動を通じて、学力の基礎・基本、人としての基礎・基本の確実な定着を図り、子どもの個性と可能性を引き出し、社会で通用する力を育成する。

- ① しっかり聞き しっかり話す子 ② 思いやりのあるやさしい子 ③ 約束・ルール・マナーを守る子
④ 自分・人・ものを大切にする子 ⑤ 健康・安全に気をつける子

めざす教職員像

(子どもに背中を見せることができる教職員集団)

- ★学校教育目標の具現化に向けて、職責を自覚し、自己研鑽に努め、教職員との連携を深めながら、粘り強く実践できる教職員集団
★教職員研修の充実

めざす学校像

- 子どもの「心という命」「体という命」を守りきり、一人一人の子どもを徹底的に大切にできる学校
○全教育活動が「研究」の場である学校
○児童・教職員ともに人権感覚と社会性の育成の場となる学校
○子どもに「学力」と「生きる力」をつけるため、教職員が力を合わせ、組織として、計画的・継続的な取り組みを行える学校
○子ども達が力を合わせ、楽しい気持ちで学び合える学校
(学校は、楽しいところ、厳しいところ、協力し合うところ)
○保護者・地域・保育園(幼稚園)・中学校等関係機関と連携・協働する学校
○校内の美化を始め、教育環境を整える学校

ちゃんとする、ちゃんとやりきる川岡東

学校教育目標の具現化に向けて

「確かな学力」の育成に向けて

- 自分の良さに気付き、豊かに人と関わる子を目指して
～国語科を通して～
「言葉を大切にし、自分のおもいや考えをもって豊かに交流できる子」の育成
①学級経営力・授業力の向上
②学力向上・学力定着への取り組み
③総合育成支援教育の充実

「豊かな心」の育成に向けて

- 自他の命、生き方、考え方を大切にする心情と規範意識の育成
①人権尊重を基盤とした支え合い高め合う集団づくりの推進
②道徳教育の充実
③生徒指導の取り組みの充実
④豊かな感性・規範意識の育成

「健やかな体」の育成に向けて

- 健康に関する意識を高め、生活習慣の確立とともに、継続した取り組みで体力の向上を図り、安全で安心な生活を推進する自己管理能力の育成
①運動・スポーツの実践
②基本的生活習慣の確立
③「食」に関する指導の推進
④保健教育の充実
⑤安全教育の充実
⑥防災教育・防災管理の充実

個を生かす

一人ひとりの子どもを徹底的に大切にする

- ・LD等支援の必要な子どもの学力向上
- ・こまめな連絡による保護者との連携強化
- ・支援体制の確立
- ・SC、SSWを活用した教育相談体制の確立と生徒指導部会やケース会議の充実
- ・関係機関との連携強化
- ・子ども理解を第一に「子どもの困り」の明確化と支援の具体化
- ・個別の指導計画の作成と活用
- ・ICTの活用等、学習支援の充実

開かれた学校づくりに向けて

学校の取組を積極的に配信するとともに、学校と地域、学校と保護者の連携を高め、協働推進できる学校づくりをめざす。

- 学校評価の分析と速やかな公表
- ホームページや学校だよりの充実
- 学校運営協議会の充実
- 保幼小連携の充実
- 桂川中学ブロック小中連携、小小連携の充実
- ・4校(3小1中)のよさを生かした、9年間の連続性を考慮した学びと育ちの充実を図る。